

関電SOS防犯カメラシステムの概要

高性能防犯カメラと高輝度LED防犯灯で24時間・365日 タウン内出入り口・通学路等を見守ります。

1. 24時間連続撮影「防犯カメラ」

高性能なカメラで24時間365日撮影し続けます。
(昼夜間撮影可能なデイトナイトカメラ単独設置タイプもご用意しています)

ポイント

高輝度LED防犯灯に防犯カメラをセットすることで、街の景観を損なうことなく、昼夜鮮明な画像が撮影できます。



2. 「画像変換装置」

カメラで撮影したアナログ画像は、中継ボックスまたは無線LANユニット内でデジタル化し、光ファイバーまたは無線LANでデータ転送します。



ポイント

○光回線の場合
独自開発した高性能な中継ボックスの採用により故障リスクが低減。運用コストを抑えます。
○OK-OPT 無線LANの場合
近傍に K-OPT 無線LANアクセスポイントがある場合は、無線LANユニットの採用により、コストが抑えられます。

5. 保存画像を確認する「パソコン等」



ポイント

インターネット接続ができるパソコンであれば、いつでもどこでもアクセスが可能なため、地元警察と協調して有事の際にすぐに犯罪捜査に活用することが可能です。地元警察署への事前説明を行い、有事の際の連携方法等についても協議を行います。

4. 記録画像を保管する「画像センター」



ポイント

伝送されてきた1秒1コマの画像は、関電SOS画像センター（大阪市内）のサーバーにて、指定の期間保存されます。期間経過後は、自動で上書き消去します。
他社の「現地に記録装置を置く方式」に比べ、遠隔地の堅牢な画像センターに保存するため、装置の破壊や持去り等の心配はありません。日々、カメラ稼働状態を自治会が管理することは非現実的。SOSでは画像がサーバーへ届いていない状態をすぐに把握できるため、「いざという時に撮れていなかった」という心配も無用です。

3. 画像を送送する「光ファイバー網」

関西電力グループの光ファイバー網を利用して、大容量の画像を迅速に伝送します。

関電SOS防犯カメラシステム導入までの流れ

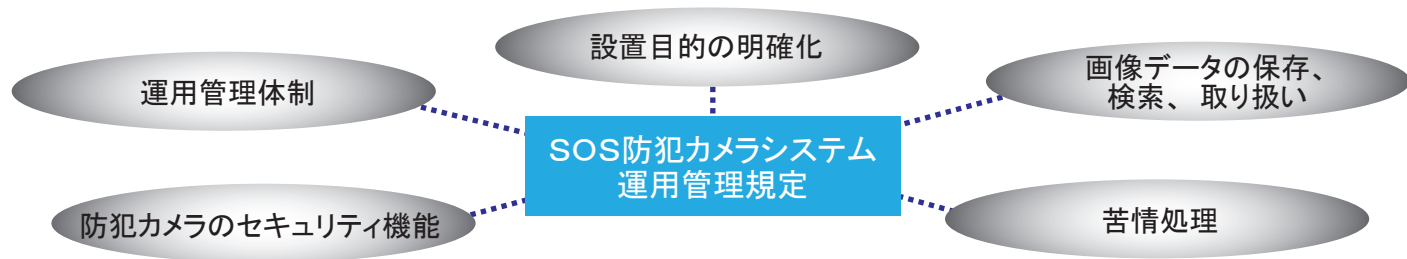
公共空間を撮影する防犯カメラを設置するにあたっては、プランニング・事前調整の段階で関係箇所との十分な調整・検討が必要であり、また多大な労力を要します。関電SOSは、これまで培ってきたタウンセキュリティ実現のためのノウハウを駆使し、自治会様との協働によるスムーズな導入と運用を実現いたします。



プライバシー保護対策

街頭カメラ設置時に課題となる『プライバシー保護対策』について、厳格な運用を期すべく、警察等と協議の上、運用管理規定を制定することをご推奨いたします。

※ 関電SOSより、これまでの防犯カメラ設置実績で培った制定ノウハウをご提供いたします。



概算費用

光回線利用の場合（1箇所1台当たり）

	概算費用	適用内容
初期費用	1,000,000 円	○資材費（SOS-LEDライト・カメラユニット防犯灯・中継BOX・VPNルータ 他付属品含む） ○工事費（機器取付、配線工事、設定費含む）
運用費用	24,000 円（月額）	○データセンター利用料 7日間（他に14日、1ヶ月メニューもございます） ○光ファイバー回線費用 ○行政占有料等

(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ
KANDEN Security Of Society (関電 SOS)

〒530-0057 大阪市北区曽根崎1丁目2番6号 新宇治電ビル内
TEL: 06-6363-7051 FAX: 06-6363-7076
受付時間 9:00 ~ 18:00 (平日のみ)